

2023 年度 (令和 5 年度) 学校評価自己評価表

芦田	中学校区	校番 17	福山市立 芦田中 学校
最終更新日		2024年(令和6年)3月1日	

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区	<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや行事紹介写真資料などを当日配付し、学校の取組や近況を具体的に説明した。</li> <li>校区内の3校を順に会場とし、評価委員全員にそれぞれの学校を見ていただいた。</li> <li>教育関係用語をわかりやすい言葉に置き換えて、説明をした。</li> <li>校区内児童生徒が伸びるようそれぞれに工夫をして、教育活動に当たっていく。</li> <li>地域の方々との協力を大切にし、学校と保護者・地域住民との連携を継続する。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた状況と温かい雰囲気の中で、生き生きと活動をしている。</li> <li>基礎学力は概ね定着しており、学習に対する意欲は高い。ペア、グループでの活動の充実により、積極的に発表できるようになっている。また、協働的に課題を解決しようとする意欲も出てきている。</li> <li>友だちの意見から自分の考えを深めることには、課題がある。</li> <li>9割前後の児童生徒が「友だちのよいところに気付いた。」と肯定的に捉えている。しかし、「自分にはよいところがある。」の肯定的評価の割合は、小中によって異なる。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>課題解決・意思決定、コミュニケーション、思いやり</p>	<p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>ふるさと芦田に愛着と誇りをもち、未来を切り拓き、たくましく生きる児童生徒</p>	<p>中学校区として統一した取組等</p> <p>「児童生徒主体の学び」の創造</p> <p>○取組推進のための校区全体研修会による活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい授業づくり(主体的・対話的・深い学び)</li> <li>考え、議論する道徳の授業づくり(理論研修・教材分析・授業研究会)</li> <li>学力・生徒指導・体力向上(調査等の分析・改善策の検討・取組実施)</li> <li>SDGs教育の推進(教育活動への位置付け・教科や学年を超えた枠組の構築)</li> </ul>
---------	---	--	---	--	---

III 自校	<p>ミッション</p> <p>ふるさと芦田に愛着と誇りをもち、未来を切り拓き、たくましく生きる力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着している。</li> <li>思考力・表現力・判断力などが身に付き、自分の考えをまとめ、はっきり表現できる。</li> <li>生徒が自己有用感をもっている。たくましく生きるための健康・体力づくりができる。</li> </ul>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>課題解決・意思決定</p> <p>コミュニケーション</p> <p>思いやり</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>小1・2</p> <p>課題に対してあきらめずに取り組み、類似点・相違点を見つたり、理由付けをしたりしながら表現している。</p> <p>自分の考えをはっきりと、最後まで伝えている。</p> <p>学校や地域の人に自分から声をかけている。身近な人に温かい心で接し、親切にしている。</p>
	<p>学校教育目標</p> <p>夢や目標の実現に向け、主体的に行動する生徒の育成</p>	<p>小3・4</p> <p>課題に対して見通しをもち、他の考えと比較したり、それを基に新たな発見をしたりしながら解決している。</p> <p>友だちの考えとつなげたり、比較したりしながら話している。</p> <p>学校や地域の人と自分から関わろうとしている。相手の気持ちを考えて、進んで親切にしている。</p>	
	<p>現状</p> <p>&lt;生徒&gt;</p> <p>ペアやグループで協働的に活動を通して、自分の意見を伝えたり、友だちの意見を真剣に聞いて、思いを受け止めたりすることができるようになってきている。体育大会では、リーダーを中心に生徒自身の力で心に残る行事をつくりあげた。文化祭では、限られた条件の中で工夫を重ね、他者を意識した発表をつくりあげた。これらの活動を通して、「自分は人の役に立てた。」「他者のよいところに気付いた。」と考える生徒が増えた。反面、「自分にはよいところがある。」「自分は認められている。」という意識が低く、自己肯定感をもてない生徒もいる。体力づくりでは、主体的に体を動かし、体力を向上させようとしている。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>課題設定を工夫して課題解決学習を取り入れたり、単元構成の工夫をしたりして、この単元で何が身に付くのかという見通しを生徒がもてるよう授業改善に取り組んだ。「授業の課題を友だちと協力して解決することが面白い。」の肯定的評価87.9%と比べて、「授業の課題を自分から進んで考えることが面白い。」(肯定的評価70.6%)が低く、主体的な学びづくりに課題がある。また、授業中、他の生徒から出た考えを聞いて、自らの考えを修正したり、深めたりすることについても課題がある。</p>	<p>小5・6 中1</p> <p>自ら課題を見つけ、複数の情報を基に、類推したり、深化させたりするなど、工夫しながら解決している。</p> <p>話し手の意図を考えながら聞いたり、相手の意見を受けて自分の考えを話したりしている。</p> <p>学校や地域をよりよくするために行動している。相手の立場に立ち、誰に対しても親切にしている。</p>	
		<p>中2・3</p> <p>自らの考えをもち、既習事項、収集した情報や生活体験などを根拠にして、比較、分類、関連付けて物事を考え、解決している。</p> <p>多様な他者との意見の違いを認め、思考・判断したことをわかりやすく表現したり、議論したりしている。</p> <p>地域や社会との関わり合いを通して、人としての思いやり、周りへの感謝の心をもち、その気持ちを行動や言葉に表している。</p>	
		<p>テーマ</p> <p>つなぐ～よりよい集団づくりを通して～</p>	<p>研究</p> <p>内容等</p> <p>生徒が主体的・対話的に学ぶ授業でつなぐ。これまでの知識や経験と今学んでいることをつなぐ。自分の考えと他者の考えをつなぐ。道徳の授業と生活をつなぐ。新しい考えと新たな価値をつなぐ。学びと学び、学びと生活、学びと人をつなぐ。そのために、自己肯定感や主体性を育むとともに、道徳教育の充実を図り、相互に関連をもたせることで、よりよい集団づくりを目指す。</p>
		<p>めざす授業の姿</p> <p>生徒一人一人の特性を生かした個別最適な学びと、それを基にした協働的な学びの往還を中心とし、生徒が主体的・対話的に考え活動する授業。そして、授業の中で完結する学びではなく、授業での学びがこれからの自分の未来とどうつながるのかが自覚でき、学ぶ意味や意義が見出せる授業。</p>	